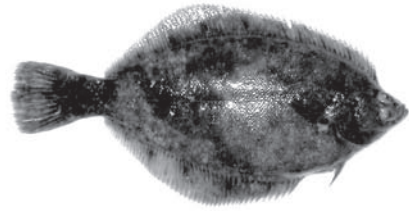


# マコガレイ

*Pleuronectes yokohamae*

地方名  
くろがしら（八戸、陸奥湾）、まがれい（陸奥湾、日本海）



## 生態

- ①寿命：約10年。
- ②成熟年齢：2歳（オス体長15.4cm、メス体長13.0cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：12月～翌年4月。  
陸奥湾では12月～翌年1月。  
太平洋では1月～3月。  
日本海では3月～4月。  
水深10～60mの砂泥域。
- ④分布：北海道中部以南から大分付近、朝鮮半島南部東シナ海。
- ⑤生態：通常は水深100mより浅い砂泥域に生息。  
食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

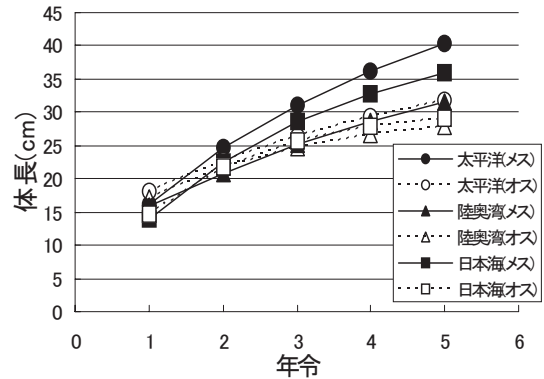


図 青森県におけるマコガレイの成長

## 主な漁業

底建網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は太平洋と陸奥湾では12月～翌年2月、日本海では1月～4月。2歳から漁獲される。

## 資源評価

※県全体の漁獲量の推移を右に示した。資源評価は地区別に次ページに示した。

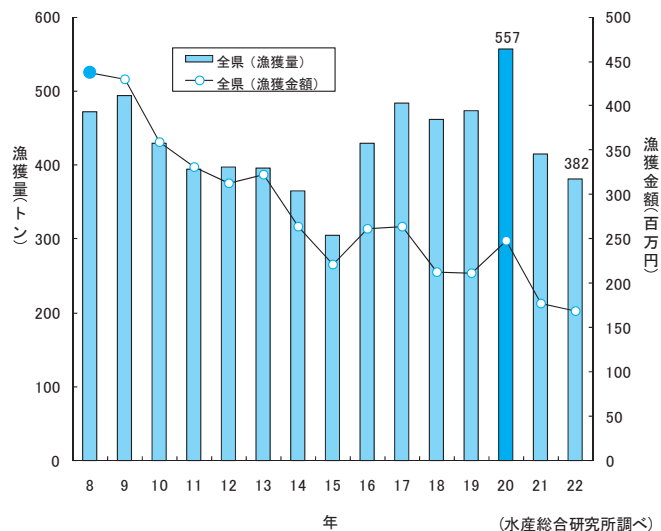


図 青森県におけるマコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

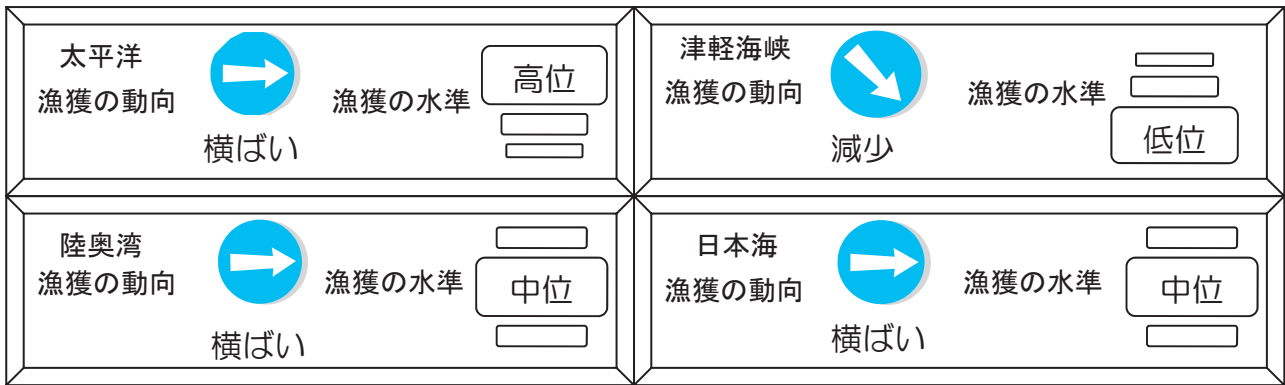
## 資源を上手に利用するために

- マコガレイ資源管理計画（平成13年3月）
  - ・全長20cm未満個体の再放流、かれい刺網の目合制限（3.5寸以上）を定めている。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要である。

## トピックス

本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、陸奥湾口、陸奥湾奥、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なる（日本海区水産研究所）。

## 漁獲と資源の動向



## 海域別漁獲量及び漁獲金額

太平洋では平成17年以降は200トン以上で推移し、平成22年は211トン、津軽海峡では平成9年の90トン peaks に徐々に減少し、平成22年は29トン、陸奥湾では平成16年以降は100トン前後で推移し平成22年は103トン、日本海では平成5年の75トン を最高に増減を繰り返しながら徐々に減少したが、平成15年の28トン を底に増加に転じ、平成22年には39トンであった。

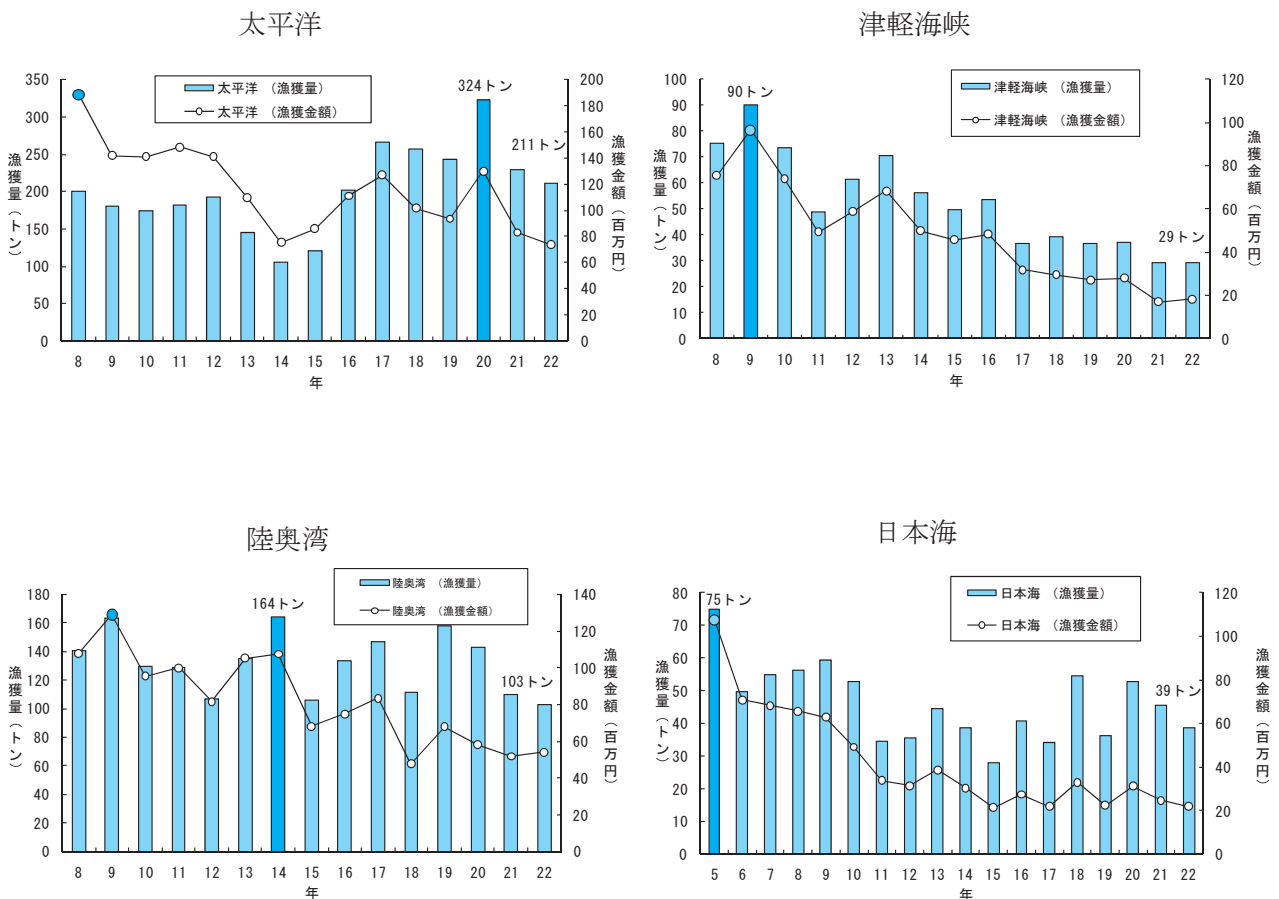


図 青森県におけるマコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移（水産総合研究所調べ）